

伊勢志摩ゆりパーク今が見頃です！

今号は、野菜と違って「ゆり」の話題です。みつばの大型生産者として活躍されている羽根泰郎さん(三重リーフ)が、新規事業として観光ゆり園「伊勢志摩ゆりパークTEL0599-55-3473」の経営を始められました。道の駅「伊勢志摩」開設に付随して、隣接地約10,000坪を観光ゆり園として磯部町が建設し、経営委託を受けて近郷の農家3人と共同で取組まれたものです。400種70万本のゆりが揃えられています。見頃と言われて6月中旬に訪れた時は、屋外に植えられた40万本が一斉に咲いており、感動物でした。ご承知のように「ゆり」は季節物で、このゆりパークも開園期間も4月下旬

～7月上旬の約3ヶ月のみと、期間限定のビジネス。本年4月に開園し、まだまだ戸惑いが多いけれど日本一を目指して頑張っていきたいと、力強く抱負を語っていただきました。開園までの苦労、やっとここまで来たかの実感、しかし勝負はこれからと、にこやかな顔の中にも厳しい覚悟が伺えたように思いました。

国内でも静岡の「可睡ゆり園」など既に何箇所か観光ゆり園はありますが、ここは種類の多さなど日本最大級を誇っています。入園料大人1,000円、子供300円ですが、この6月には、入場者が多い日で5,000人を超え、もう可睡へ行かなくてもいいと評判も上々とのことでした。

今回の取組に至った経緯は、磯部町に野生の「ささゆり」があり、ハウス近傍で難しいとされている栽培に取組み、成功した経験、地域おこしに役立ちたいの2点から決断されたとのこと。通年生産体系確立で経営安定化を図ってきた「みつば生産」に対して、「ゆり」は期間限定で難しさはあるけれど新規事業としてぜひやりあげたい。「伊勢志摩ゆりパーク」へ行きたいと言われるように色々取組を考え、観光の新名所として定着させていきたいと夢を語っていただきました。今年見逃すと来年まで見られません。あとわずかです。ぜひお出かけ下さい。

(企画室 小倉東一)

